

二十歳のころ

A 班 小林・齊藤・松田・八幡

〈研究動機〉

現代社会は、多くの人や会社に関わり合って、経営が成り立っている。その中で私たちは、多くの企業の柱となる、事業投資やコンサルティングを専門とする企業について調べたいと思った。また、そのような専門分野の知識が浅く、具体的にどのような仕事をしているのか学びたいと考えた。また、あらゆる知識が必要な仕事だと思うため、どのような経歴、知識を持った人が活躍しているのか株式会社リヴァンプにインタビューさせていただいた。

〈インタビューさせていただいた方〉

株式会社リヴァンプ

事業コンサルティングチーム・プリンシパル 五藤伸介様

〈五藤さんについて〉

日本大学経済学部卒業後、メガネブランド Zoff を運営する株式会社インターメスティックに入社。Zoff で店舗運営を経て、企業開発業務に従事。Zoff がリヴァンプのクライアントであったこともあり、Zoff 入社 4 年後、リヴァンプに転職。

現在は、事業コンサルティングチームのプリンシパルとしてご活躍している。

〈インタビュー内容〉

Q1.二十歳の頃と現在の人生設計の違いについて

A.(二十歳の頃) 具体的な人生設計は決まっていなかったが、音楽で生計を立てていきたいと思っていた。

(現在)人生設計は自分で決めるものではないと考える。様々な経験をする中でだんだんと自分について知ることができるので、目の前のことに精一杯向き合うことが大切である。

Q2.二十歳の頃に経験してよかったことについて

A.サークルや音楽制作での経験。サークルという大人数の集団で運営を担当し、リーダーシップを学んだことが将来へと繋がった。また、音楽制作を通して商売や仕事においては相手が求めることや人のために働くということが重要であると学んだ。

Q3. 二十歳の頃にしておけばよかったことについて

A. あまり後悔はない。社会人になってからの経験の方が重要であると考えている。

Q4."働くこと"に対する二十歳の頃と現在の考え方の違いについて

A. (二十歳の頃) "働くこと"とは自分のためであると考えていた。自分が好きな音楽を作り、自分の曲を聴いてほしいと思っていた。

(現在) "働くこと"とは他者や相手のためであると考えている。サークルの運営や音楽制作での失敗経験から、仕事というものは誰かに求められなければ成り立たないことを学んだ。そして、何事も相手の立場になって考えることが大切であると気がついた。

Q5.大切にしていること

A.自分のためではなく、人のために働くことが大切。クライアントや社会、チームなど『周りから望まれていること』を行う。

Q6. やりがいについて

A. 働いている以上は、結果を出さないことには意味が無いため、組み立てたプランが実行され、成果が出たときにやりがいを感じる。自分の部下の成長が目に見えたときも上司としてのやりがいを感じる。

Q7. 失敗や挫折したときどうしていたか

A. 挑戦しないことには失敗できない。ただ成功しているだけではなにも気づきは生まれない。失敗によって自分のやり方、考え方にどのような問題があったのかを理解することが出来る。

Q8. 目標、憧れの人

A. 参考にする人はいても、その人と自分は同じ人物ではないため、同じことをしてみようとは思わない。

Q9. クライアントやチームメンバー（部下など）との信頼関係を築くのに心掛けていること

A. ①常にクライアントの気持ちを考え、偉そうにしないこと！
もちろん実績を出すことが大前提だが、一緒に仕事をしたいと思ってもらえるような態度で常に接することが大事になる。「俺についてこい！」というような偉そうな態度ではなかなかクライアントとの信頼関係を築くことは出来ないものだ。

②相手のことを理解、知ろうとする対話やその姿勢が重要！
世間話のような浅い会話で知れるのは相手の上辺のことだけであると考えている。信頼関係を築いていくためには、一対一で相手のことを知ろうとする対話の姿勢が必要だ。（一つの例として五藤さんは、「さん」付けや堅苦しい敬語はあまり使わずにメンバーと接していच्छる）

Q10.プリンシパルとして大切なこと

A.相手の立場に立って考えることがやはり大切！これもまた先に述べたように「俺についてこい！」といったタイプのリーダーでは今の時代の仲間は付いてきてくれないもの。しかし、相手を考えてただ合わせているだけだと自分の意見を伝える事も出来ないし、リーダーとしてはやっていけない。相手の意見とのバランスをよく考え、調整する力が必要になる。

〈最後に〉

五藤さんは、学生時代に自分の興味のある音楽に携わりたいという思いから、自分でサークルを作るなど、躊躇わず行動し、挑戦していた。そのため、多くの発見や経験を得られ、今の仕事に活かすことができている。このような好奇心は、自分の武器など、今まで知らなかった可能性を見つけるきっかけや、仕事や学業の幅を広げることに繋がること分かった。このことから、すべてのことは無駄ではないと感じ、思い立ったら実行してみようと思った。

また、相手の立場になって考えることや、相手に親身になって寄り添うこと。これらは、相手との信頼関係を築くことや、コミュニケーションをとる上で、社会人になってからも重要であることが分かり、さまざまな人と関わることで自分自身の心身の成長にも繋がると感じた。